

ハエはどこから？

授精課 高橋聖

○はじめに

最近、暑くなってきましたね。



暑くなってくると増えてくるのが今回の主役、ハエ。私自身、道東に来てから驚いたのがハエやアブの多さです。

今回は厄介者のハエについて、紹介します。

○厄介者



ハエやアブは牛に対してストレスを生じさせ、生産性の低下や疾病の伝染などの被害をもたらし、人間にとっても目障りで不快です。またサシバエやアブは人間にも刺すことで、腫れやかゆみを生じさせます。

ハエは

卵 → 幼虫 → サナギ → 成虫
(1日) (1週間) (1週間)

と約2週間で卵からふ化します。

さらに驚くべきは

ふ化翌日には交尾可能で

ふ化から4.5日ほどで産卵をはじめ

生涯に3~4回産卵し、

一回に産む個数は50~150個

といわれています。

○発生源の条件

ハエは

- ① 水分があるところ
- ② 家畜の糞尿、生堆肥、敷料、こぼれた飼料
- ③ 掃除のできていない飼槽

で繁殖を行い、勢力を拡大していきます。

一ではヤツらは

どこから出てくるのでしょうか—

○牛舎内を見てみよう。



週に数回、水槽の中を掃除をしている牧場。今回注目してほしいのは**水槽の外**。水槽の中はきれいでも外側には糞が付いており、さらに、水分も多いためこの時期はハエが湧きやすいポイントとなっています。時間のある方は動画でも紹介していますが小さいハエが壁をつたい、飛び立とうとしています。

○この農場での改善

ここの農場では週に数回おこなってる水槽掃除の際に外側もきれいにすることでハエの発生も抑制できました。(と感じています。)



掃除後の水槽の写真
農家さん従業員さんの負担にならない程度に掃除することで少しでもハエの発生抑制になると思います。

ハエはどこから？

授精課 高橋聖

○ハエ対策の3つのポイント

① 発生源対策（産卵、ふ化させない）

ハエは家畜の糞や飼料の残渣に好んで産卵
します

→こまめに除糞する。

→こぼれた飼料や水槽周辺を掃除する。

② 幼虫対策

成虫にさせないためにも**薬剤の散布**が有効
です。

→幼虫が発生しやすいところには昆虫発育
抑制剤（IGR 剤）を月に一回散布する。

IGR 剤とは…

過去のマネージメント情報から
サイクラーテ SG が紹介されてますが
これは簡単に

卵 → 幼虫 → サナギ ~~→~~ 成虫

サナギに作用してその成長を抑制し成虫に
させないという製剤です

③ 成虫対策

成虫に対しても**薬剤を使う**のが有効です。
薬剤に添付されている説明書の用法、用量
を守り使ってください。

→ハエが牛舎内に入ってくる夕方～翌朝、
雨天時が有効です。

→同じ薬剤を使うとハエが耐性を獲得して
しまうため薬剤をローテーションさせよう。

成虫対策

製剤名	有機リン剤	プレスロイド剤	その他
製品名	アルファクロン	動物用金鳥ETB乳剤 ペルメトリン乳剤	スミスリン乳剤 スパレン乳剤 ノックベイト アジタ
使用方法	水に希釈して 毒餌に使用	水に希釈して 虫の体に噴霧	水に希釈し噴霧
いい点	残効性がある	即効性がある	効果が高い 噴霧・設置しやすい 家畜に安全
注意点	家畜・人に毒性がある 耐性ができやすい	残効性がない	

○ポイント

ハエは

- ・水分があるところ
- ・家畜の糞尿、生堆肥、敷料、こぼれた飼料
掃除のできていない飼槽が大好き。
- ・ふ化翌日には交尾可能
- ・ふ化から4.5日ほどで産卵をはじめ
- ・生涯に3~4回産卵
- ・一回に産む個数は50~150個

対策は

産ませない、ふ化させない、ノックアウト
させる

○最後に

今回の高橋のマネージメント情報はいかが
だったでしょうか。

ハエについて勉強なったりこれを参考に
ハエ害とは無縁の酪農経営を目指せると

幸いです。



高橋